

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		5	* 広く、個室を増やす * 個室を増やしてほしい。広い室内で遊べるところがほしい。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	5		児童指導員の配置基準は満たしているが、利用者数が多い時には職員数が足りないと感じるときもある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	9			玄関の手すりと手洗い場の手すりは、現在は外しているが、必要時には設置できる。
	4	それぞれのスペースにおいて、感染対策は充分に行われているか	9			アクリル板の使用はやめたが、定期的な消毒は継続している。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	9			目標設定時に職員の意見を聞いて行っている。
	6	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9			保護者の方からいただいた意見を参考にして業務改善につなげている。
	7	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9			広報誌「福祉ひだ」や飛騨市社協ホームページに掲載している。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9			研修だけでなく、会議などの内容を職員間で共有している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			アセスメントを丁寧に行い、保護者や子どものニーズを反映して個別支援計画を作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	9			「福祉協会ASP」のソフトにあるツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか(目標)	9			複数の職員で話し合いながら立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9			目標の達成状況を確認しながら立案している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9			平日では行えない支援があるので、休日や長期休暇は目標を変更している。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9			子ども一人一人の様子や状態などを見極めながら作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9			打ち合わせはできている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9			日誌の記録時に、職員間で振り返りをしながら共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9			職員どうしで子どもの様子を確認しあいながら記録している。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9			半年に1回を目安にモニタリングを行っている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4	5		行っている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9			児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	9			神岡小学校とは、利用児の情報を毎週お伝えして共有している。それ以外の学校とも、行事予定や下校時刻の確認、利用児の状態の共有など行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				受入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9			ことばの教室や保育園と情報共有できている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9			相談支援員さんも交えて情報共有している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9			飛騨市の「ふらっと」と連携できている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			9	今後の課題として検討していく必要がある。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	9			「こども部会」の部会長として参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9			アセスメント、モニタリングの時などに必ず行っている。子どもの帰宅時などにも、その日の状況や様子を伝えるようにしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての支援を行っているか	9			相談があれば随時支援している。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9			契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9			随時行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1		保護者会はないが、保護者どうしの交流の場として「いきぬきカフェ」を開催している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9			体制を整備し、対応もできている。
	34	施設内での活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9			施設からのお知らせ等は利用申込書の配布時に同封している。また、季節の行事を行った時などにも、保護者あてにお便りを渡している。
	35	個人情報に十分注意しているか	9			個人情報保護規程を制定している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9			情報を視覚化するよう配慮している。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9			いきぬきカフェで地域住民の方にも施設見学していただく機会を設けた。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9		できている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	9		定期的に実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8		虐待防止マニュアルに基づき実施している。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8		やむを得ない場合については、保護者と十分に話し合い、個別支援計画に記載している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8		個別に対応している。(現在1名のみ該当)
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8		できている。